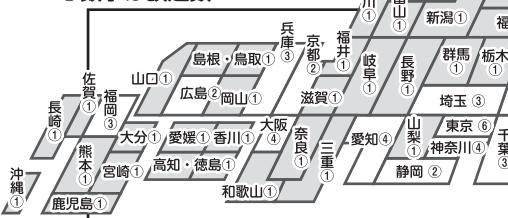


# 参院選で「安倍政権ノー」の声を

- 野党統一候補が実現した1人区…32
- 複数区…13

○数字は改選数



## 全1人区で野党統一候補が実現

6月1日に閉会した通常国会の大きな特徴は、野党の協力が新しい形になってあらわれてきたことです。戦争法廃止法案をはじめ、介護職員や保育士の待遇改善法案、残業時間を規制する労働基準法改正案など、雇用、子育て、男女平等、税制など幅広い分野で、15本の法案が4野党共同で提出されました。

そして、参議院選挙では1人区の全選挙区で野党統一候補の擁立が実現しました。こうした新しい政治の流れを、さらに加速させることが求められています。そのためにも、参議院選挙は絶好の機会となっており、「安倍政権ノー」の声を大きくひろげる必要があります。

選挙の結果は、今後の改憲をめぐる動向はもとより、今夏の最低賃金の引き上げにもただちに影響をあたえます。わたしたちの要求と結びつけて、「暴走政治ストップ」の声を一票にしてあらわしていくことが重要になっています。

## わたしたちの暮らしといのちを守りたい

安倍首相は、アベノミクスの成果を強調していますが、本当に成果があがったのでしょうか。

大規模な金融緩和の効果で、一部の大企業と富裕層は莫大な利益を手にしています。その一方で、1890万世帯は貯蓄がゼロで、生活保護を受けている世帯は160万を超えていています。実質賃金は減りつけ、消費は冷え込み、景気回復にはつながっていません。

消費税を増税し、大企業には法人税減税で優遇する。「1億総活躍社会」「待機児童解消」と安倍首相がかけ声をかけても、労働法制の改悪で活躍の場をうばい、圧倒的に足らない保育所を増やす考えはありません。

こうした国民犠牲の根本には、大企業とアメリカしか見ていない自民党政治があります。国民のための政治に切り替えるれば、大企業や富裕層から応分の負担を求めて社会保障費にあてるこどや、国公労連がビクトリーマップで示してきたように、利益を内部留保でため込むのではなく、労働者の賃上げや雇用に回すことが可能です。



ノリちゃん そーばー。個人演説会やら行ってん、要求や政党のかかげとお政策やらなんやらば、しっかり聞いてくさ、そいば友人に伝えたり、一人ん主権者として積極的な意思表明ばやって、政治に参加してくるてことは、すんごく重要なことやで！

6月1日に閉会した通常国会の大きな特徴は、野党の協力が新しい形になってあらわれてきたことです。戦争法廃止法案をはじめ、介護職員や保育士の待遇改善法案、残業時間を規制する労働基準法改正案など、雇用、子育て、男女平等、税制など幅広い分野で、15本の法案が4野党共同で提出されました。

そして、参議院選挙では1人区の全選挙区で野党統一候補の擁立が実現しました。こうした新しい政治の流れを、さらに加速させることが求められています。そのためにも、参議院選挙は絶好の機会となっており、「安倍政権ノー」の声を大きくひろげる必要があります。

選挙の結果は、今後の改憲をめぐる動向はもとより、今夏の最低賃金の引き上げにもただちに影響をあたえます。わたしたちの要求と結びつけて、「暴走政治ストップ」の声を一票にしてあらわしていくことが重要になっています。

## 公務労働者として働きがいを持って仕事したい

職場では、定員削減で一人また一人と働き手が減っています。非常勤職員や派遣・請負への置き換えもひろがっています。また、社会保険庁の民営化をはじめ、公務職場の民営化・民間委託が、「行政改革」の名のもとにすすめられています。

安倍政権は、「5年間で10%以上」という総人件費削減方針にそって、もっと公務員を減らすつもりです。多くの若者の命を奪った今年1月のスキバス事故を通して、労働基準監督官や国土交通省の監査官の圧倒的な不足が問題になりました。定員削減で削っているのは、結局は国民の安全・安心にほかなりません。

総人件費削減方針による「給与制度の総合的見直し」で、公務員賃金は平均2%も引き下げられました。そのため、2年連続のペア勧告も、実質的な賃上げにはつながっていません。

国民の期待に応え、わたしたちが誇りと働きがいを持つて仕事をするためには、公務員総人件費削減の政府方針を抜本的にあらため、世界と比較しても圧倒的に少ない日本の公務員を増やす方向へと切り替えていく必要があります。



「インターネット選挙運動」が2013年から解禁されました。でも、「国家公務員はしちゃダメ!! NG!!」なことがあります。

インターネット選挙で（今回は博多弁）できること、できないことは？



ケンちゃん 選挙ん公示申白ば過ぎて、ツイッターやラフエイスブックやう見よつたら、「選挙ば行こう！」へさんば當選させようー」ちゅう呼びかけの、えらいたくさんなつとおばつてんが…。インターネット選挙運動つちなんね？  
ノリちゃん ケンちゃん、意外と社会ん動きに敏感やね！ よから「インターネット選挙運動」のできんしやるどとなつたつ。有権者はウェブサイト（ホームページ）、ブログ、ツイッターやフェイスブック等々SNS、動画共有サイトやらじば利用して、候補者の発信じるるブログやらばシェアしどつたり、そん候補者に「投票しあくわ！」と呼びかけてもよかなかつたとばい。  
ケンちゃん へえ、ほんなごあ。  
ノリちゃん そらばつてんが、国家公務員はインターネット選挙運動でNGなつこがあるんばい！ 大事なつやから覚えてきやなつたとばい。  
ケンちゃん へえ。  
…。